

2018年10月期(第50期)第2四半期 決算説明会

創業50年
感謝と共に未来へ

株式会社 日本ハウスホールディングス



代表取締役社長 成田 和幸

2018年6月21日

東証 第一部 1873

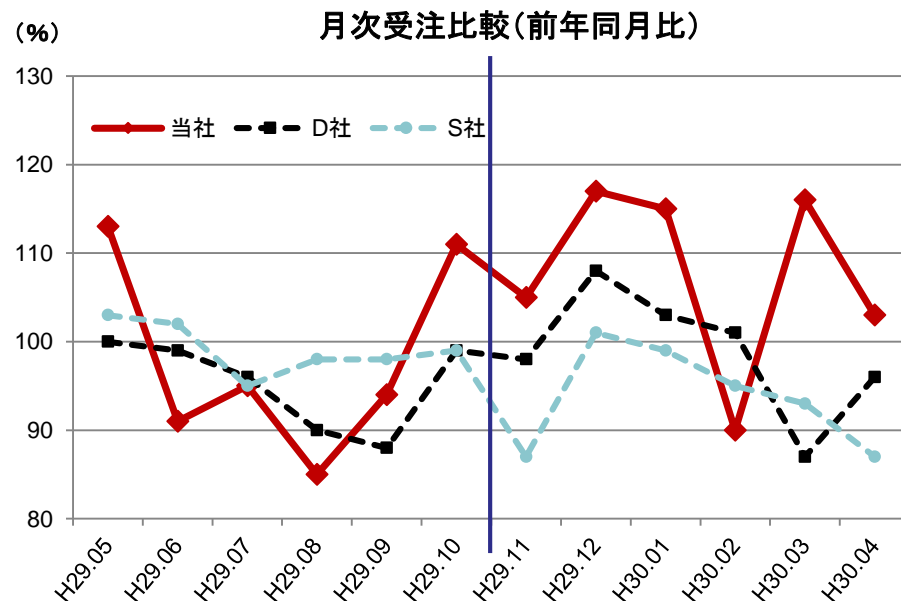
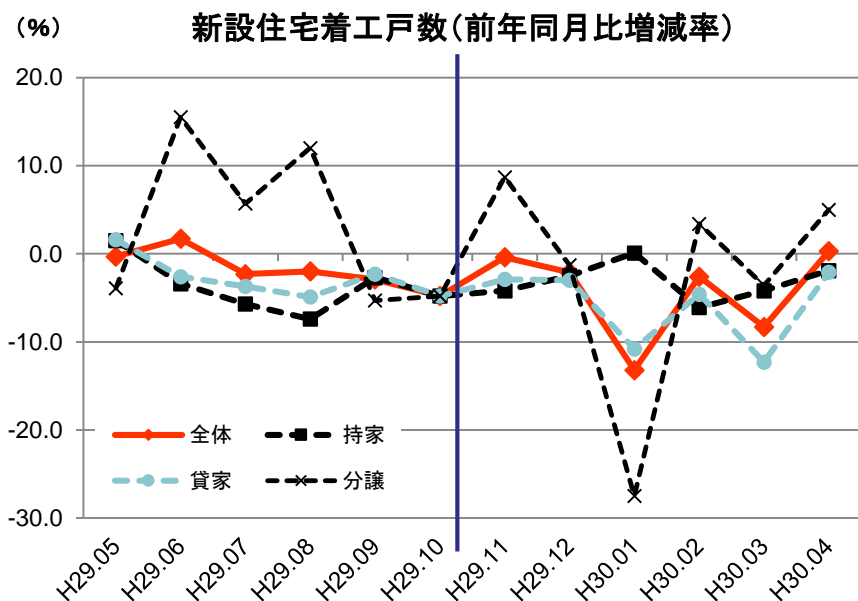
1. 2018年10月期(第50期)第2四半期決算業績
2. 2018年10月期(第50期)下期重点施策
3. 2018年10月期(第50期)業績予想
4. 質疑応答

2018年10月期(第50期)第2四半期決算業績

1. 受注状況

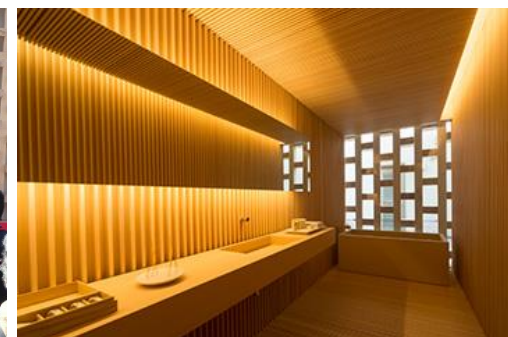
●2018年10月期(第50期)上期受注実績状況

受注状況(前年同月比)							
H29.11	H29.12	H30.1	H30.2	H30.3	H30.4	H30.5	H29.11- H30.5累計
105%	117%	115%	90%	116%	103%	104%	107%



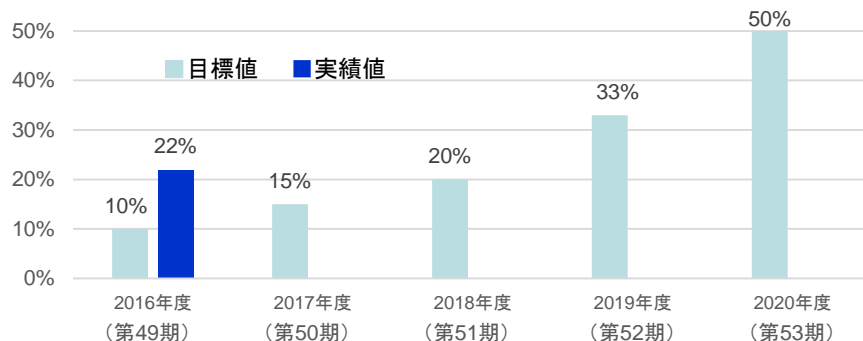
2. 50周年記念モデルハウスオープン

- ◆隈研吾氏設計監修 50周年記念モデルハウス
～コンセプト「伝統を継承するあたらしい木組の家」～
(世田谷区瀬田、2018年3月オープン)



3. ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス普及に向けての取組み

◆受注する住宅の内ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスが占める割合を2020年度までに50%以上とする目標で推進中



▶第49期(11月－10月)実績 219 / 1,013棟 22%

▶第50期(11月－5月)実績 161 / 459棟 35%

4. 社員力強化

◆営業力強化推進部による社員教育強化(特に1年～3年営業)

▶1年～3年営業

2016年10月期(第48期)受注実績288棟 82億円 前年比133%

2017年10月期(第49期)受注実績328棟 88億円 前年比108%

2018年10月期(第50期)受注計画395棟107億円 前年比121%

⇒2018年4月迄受注実績182棟 48億円 前年同期比124%

2018年10月期(第50期)第2四半期 連結業績

(単位:百万円)	18年10月期(第50期)第2四半期実績					17年10月期 (第49期) 第2四半期 実績
	実績	前年同期比		計画比		実績
		増減	比率	増減	比率	
売上高	16,990	▲1,374	▲7.5%	▲2,010	▲10.6%	18,364
営業利益	▲496	▲547	—	▲796	—	51
経常利益	▲619	▲554	—	▲819	—	▲65
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲683	▲539	—	▲783	—	▲144

■ 売上高 169億円(前年同期比 ▲13億円 計画比 ▲20億円)

■ 利益 ▲6.8億円(前年同期比 ▲5億円 計画比 ▲7億円)

2018年10月期(第50期)第2四半期 セグメント別業績



(単位:百万円)	18年10月期(第50期)第2四半期実績						17年10月期 (第49期) 第2四半期 実績	
	売上高	増減	比率	営業利益	増減	比率	売上高	営業利益
住宅事業	14,113	▲674	▲4.6%	▲262	▲405	—	14,787	143
ホテル事業	2,836	▲264	▲8.5%	167	▲100	▲37.5%	3,100	267
ビール事業	—	▲434	—	—	▲33	—	434	33
その他事業	40	▲2	▲4.8%	19	▲2	▲9.5%	42	21
消去又は全社	—	—	—	▲420	▲6	—	—	▲414
合計	16,990	▲1,374	▲7.5%	▲496	▲547	—	18,364	51

※「消去又は全社」は全社共通経費

2018年10月期(第50期)第2四半期 単体業績

(単位:百万円)	18年10月期(第50期)第2四半期実績					18年10月期 (第49期) 第2四半期 実績
	実績	前年同期比		計画比		実績
		増減	比率	増減	比率	
受注高	18,380	+1,219	+7.1%	—	—	17,161
受注棟数	597棟	+84棟	+16.4%	—	—	513棟

売上高	14,190	▲771	▲5.2%	▲1,310	▲8.5%	14,961
営業利益	▲378	▲428	—	▲678	—	50
経常利益	▲482	▲436	—	▲682	—	▲46
当期純利益	▲511	▲419	—	▲611	—	▲92

■ 受注高 183億円(前年同期比 +12億円)

■ 売上高 141億円(前年同期比 ▲7億円)

■ 当期利益 ▲5.1億円(前年同期比 ▲4億円)

2018年10月期(第50期)第2四半期 単体 建物受注高・受注残

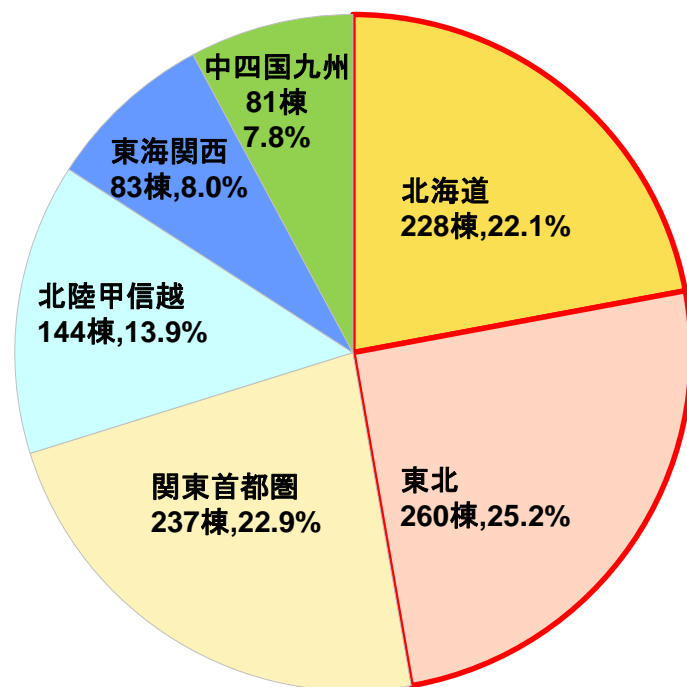
(単位:百万円)	18年10月期(第50期)第2四半期実績						17年10月期(第49期)第2四半期実績	
	受注高			受注残			受注高	受注残
		増減	比率		増減	比率		
日本ハウス 事業部	(386) 10,492	(+45) +601	(+13.2%) +6.1%	(670) 19,330	(+63) +992	(+10.4%) +5.4%	(341) 9,891	(607) 18,338
J・エポックホーム 事業部	(131) 3,315	(+9) +243	(+7.4%) +7.9%	(271) 6,787	(+42) +987	(+18.3%) +17.0%	(122) 3,072	(229) 5,800
住・環境リフォーム 事業部	(39) 3,647	(+27) +140	(+225%) +4.0%	(51) 3,436	(+33) +34	(+183%) +1.0%	(12) 3,507	(18) 3,402
Urbanアセット マネジメント事業部	(8) 253	(+6) +218	(+300%) +622.8%	(10) 333	(+8) +298	(+400%) +851.4%	(2) 35	(2) 35
分譲・投資 マンション事業部	(33) 673	(▲3) +19	(▲8.3%) +2.9%	(66) 1,381	(+21) +548	(+46.7%) +65.8%	(36) 654	(45) 833
合計	(597) 18,380	(+84) +1,219	(+16.4%) +7.1%	(1,068) 31,267	(+167) +2,856	(+18.5%) +10.1%	(513) 17,161	(901) 28,411

※上段()書きは棟数・戸数 / 住・環境リフォーム事業部の棟数:10坪かつ500万円以上

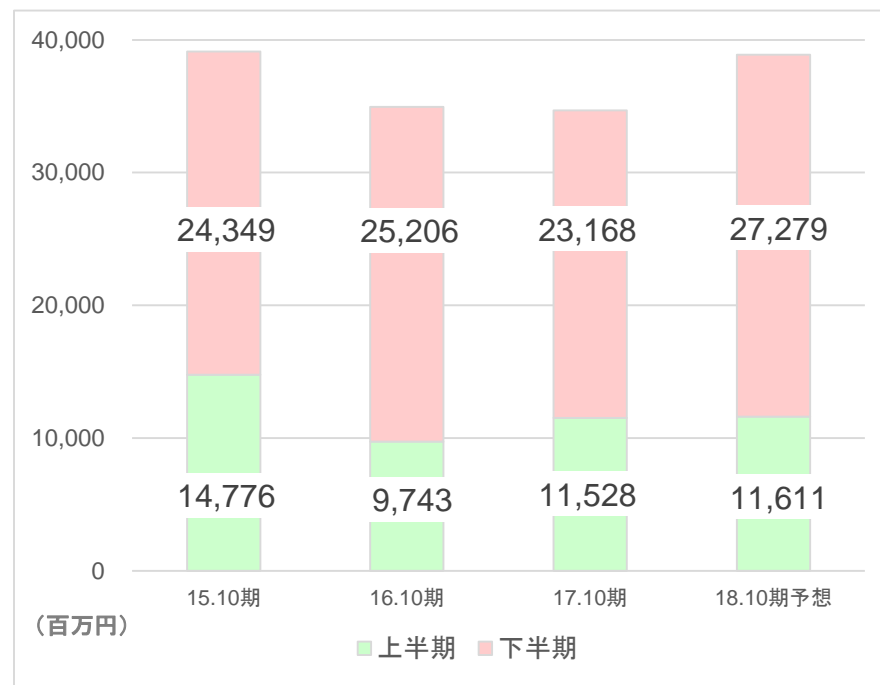
(ご参考)売上・利益の下期偏重について

- 積雪の多い北海道・東北地域の割合が高く、完工が下期に集中。
- 売上・利益は下期に偏重する傾向が強い。

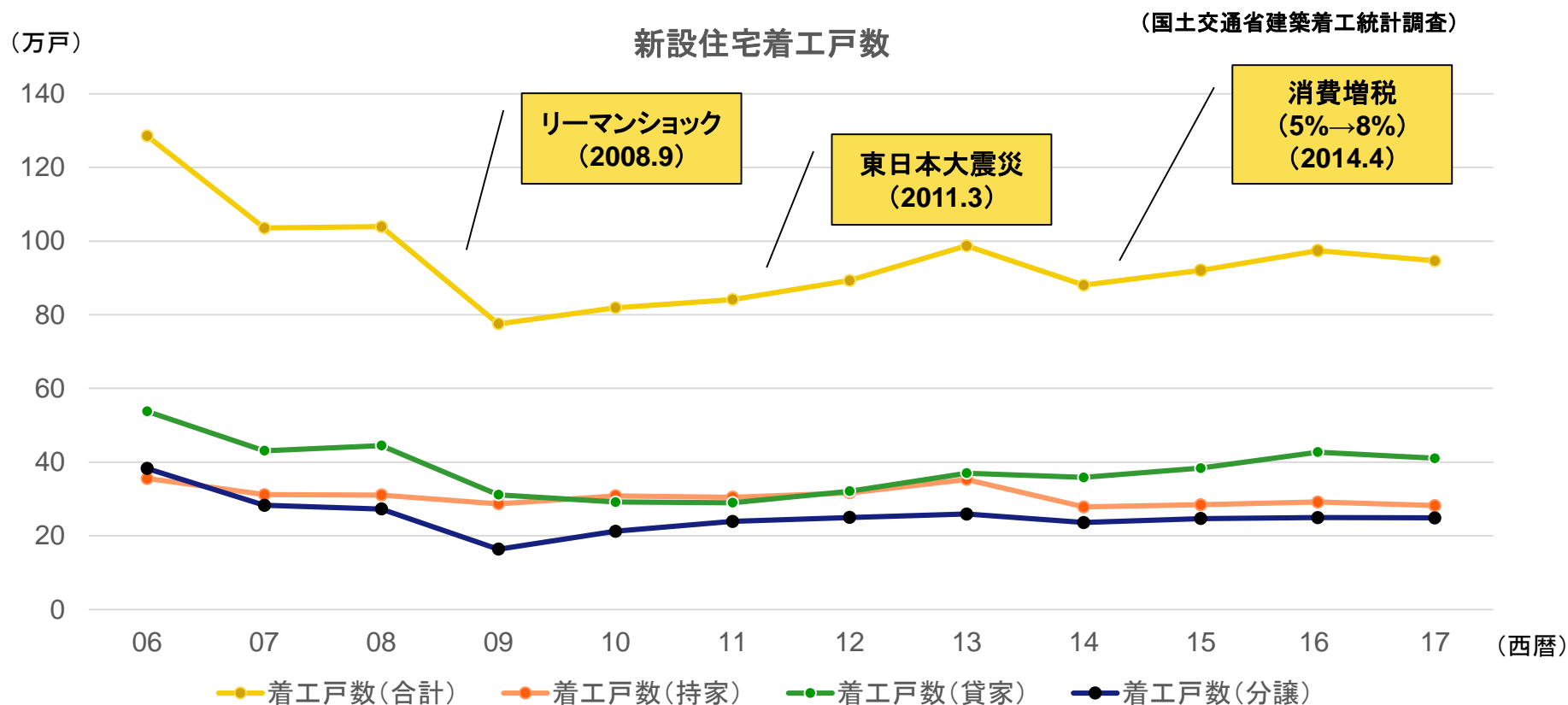
※当社完工棟数地域別シェア(2017年10月期単体実績)



※過去3年間の建物完工高推移と当期完工高予想(単体)



2018年10月期(第50期)下期重点施策



- 2014年度は、消費増税反動減
- 2015年度は、消費増税先送りの影響で住宅着工戸数は微増
- 2016年度は、相続税改正の影響で「貸家」増加による微増
- 2017年度は、3年ぶりに前年度比2.8%の減少

2018年10月期(第50期)下期重点施策①

1. 50期 1,300戸計画へ修正(49期:1,135戸)

1展示場当たり、毎月2棟 年間最低12棟受注目標(全国展示場110ヶ所) ⇒ 1,300戸計画

…最重点課題:営業力UPと生産性UP (1)1展示場当たりの受注棟数 (2)1人当り売上高

【50周年記念仕様】

価格据え置きで標準仕様がグレードアップ! お客様品質が大幅にアップ!



「檜の家」
檜にこだわる『檜 品質』



「ZEHの家」
エネルギー自給自足にこだわる



「フルタイル特別仕様」
6月末迄ご契約の期間限定

※上記仕様:やまと「館」「華」

2018年10月期(第50期)下期重点施策②

2. マンションプロジェクト

(11月末時点)

物件名		竣工	販売戸数	物件概要
完成済	Jワザック東雪谷	2016年8月	23戸 (残4戸)	地上4階建1LDK~2LDK
	Jワザック押上エクセレント	2017年12月	24戸 (残11戸)	地上7階建Studio1LDK~2LDK
工事中	Jワザック東京押上	2018年8月 (予定)	60戸 (残14戸)	地上11階建1LDK~2LDK
	Jワザック文京本駒込	2019年9月 (予定)	30戸 H30.6販売開始	地上15階建1LDK~2LDK
計画中	ワザック柏の葉キャンパス(仮)	計画中		



(Jワザック東雪谷)



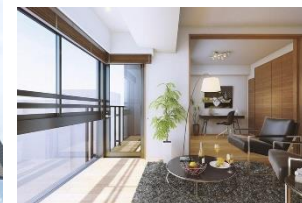
(Jワザック東京押上)



(Jワザック押上エクセレント)



(Jワザック文京本駒込)



3.グループ事業等

【ホテル事業】

1. ホテル会員権事業『みやび倶楽部』～8月事業開始
2. 四季の館 芦ノ湖(新規ホテル)～2020年春オープン予定



ホテル森の風 那須 / 四季の館 那須
平成30年10月11日
同時オープン



【メガソーラー事業】

熊本県阿蘇にて3カ所目新設
(平成30年7月稼働予定)



(北海道白老第一発電所)

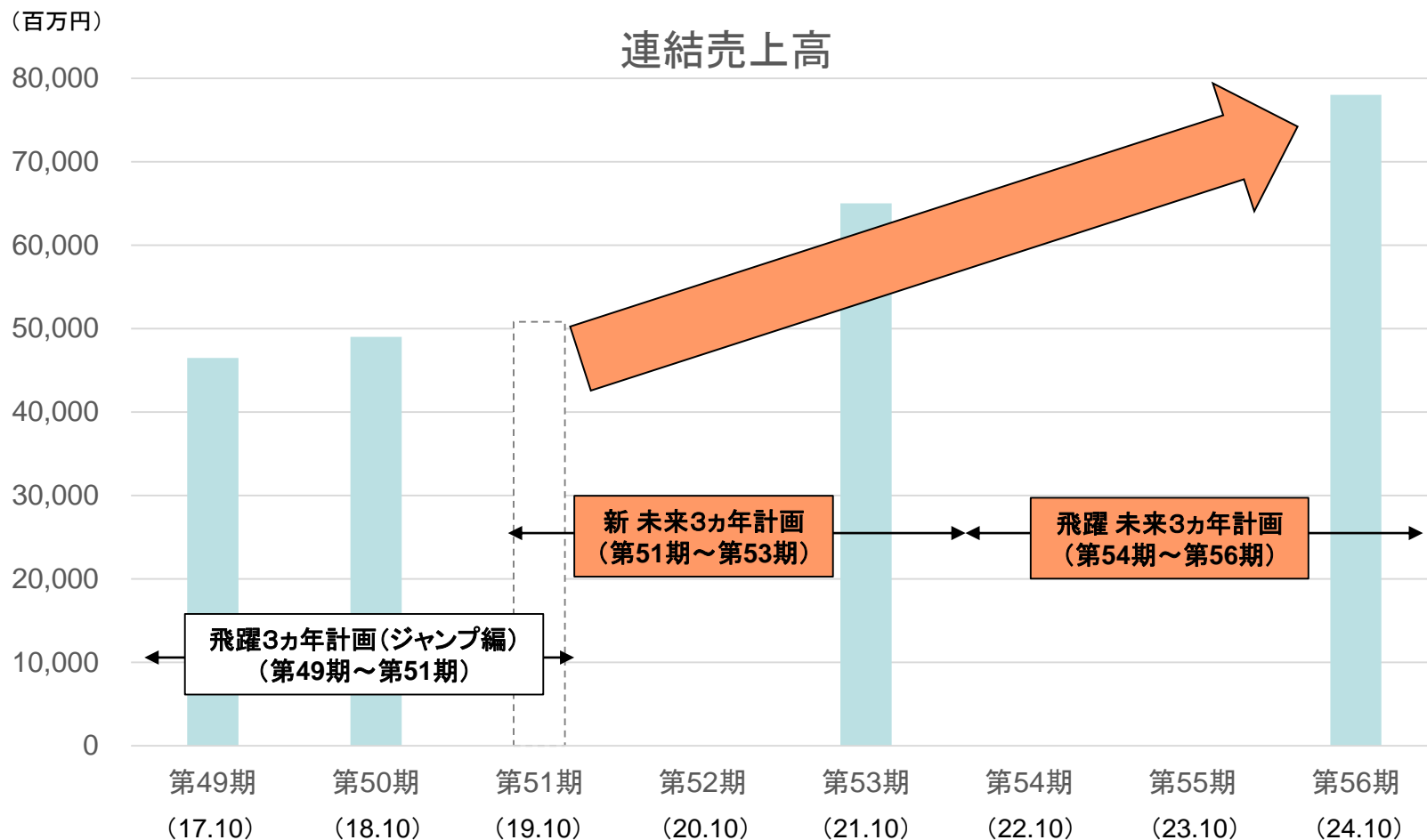


(三重発電所)

2018年10月期(第50期)下期重点施策④

4.新 未来3カ年計画へ向けて

飛躍3カ年計画(ジャンプ編3年目)を発展的に見直し



2018年10月期(第50期)業績予想

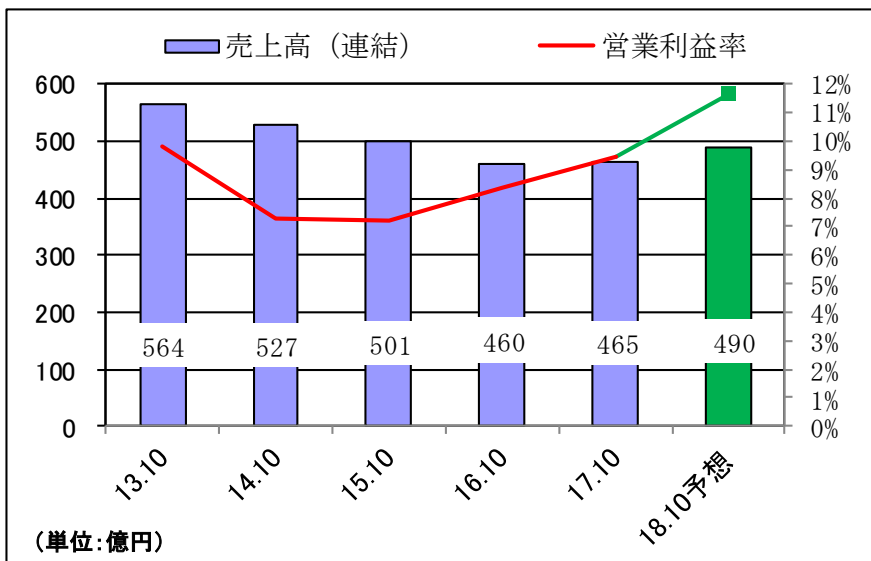
2018年10月期(第50期) 連結業績予想

(単位:百万円)	18年10月期(第50期)				17年10月期(第49期)	
	業績予想		前期比		実績	
		売上比	増減	比率		売上比
売上高	49,000	100%	+2,518	+5.4%	46,482	100%
営業利益	5,700	11.6%	+1,309	+29.8%	4,391	9.4%
経常利益	5,500	11.2%	+1,384	+33.6%	4,116	8.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	3,600	7.3%	+595	+19.8%	3,005	6.5%

2018年10月期(第50期) 単体業績予想

(単位:百万円)		18年10月期(第50期)				17年10月期 (第49期)
		業績予想	売上比	前期比		実績
				増減	比率	
受注予想	受注高	38,100	—	+1,685	+4.6%	36,415
	受注棟数	1,190棟	—	+55棟	+4.8%	1,135棟
業績予想	売上高	43,000	100%	+3,448	+8.7%	39,552
	営業利益	5,600	13.0%	+1,282	+29.7%	4,318
	経常利益	5,400	12.6%	+1,279	+31.0%	4,121
	当期純利益	3,600	8.4%	+480	+15.4%	3,120

財務内容(連結)・資本施策

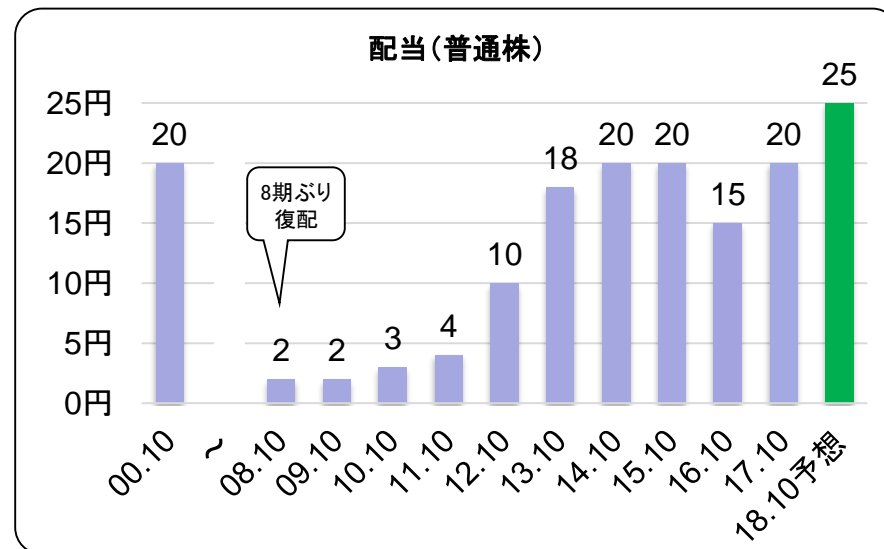


【ご参考】:主要ハウスメーカーとの財務比較

社名	決算期	売上高	営業利益	営業利益率
日本ハウスHD	(17/10実績)	46,482	4,391	9.45%
	(18/10予想)	49,000	5,700	11.63%
大和ハウス工業	(18/03実績)	3,795,992	347,141	9.14%
積水ハウス	(18/01実績)	2,159,363	195,540	9.06%
住友林業	(18/03実績)	1,221,998	53,021	4.34%
ミサワホーム	(18/03実績)	388,552	7,485	1.93%

【株主配当】

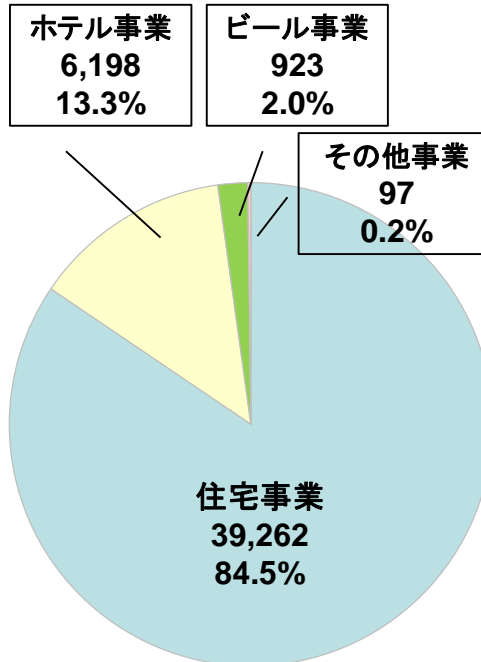
- 2013年10月期(第45期)(実績) 18円配当
- 2014年10月期(第46期)(実績) 20円配当
- 2015年10月期(第47期)(実績) 20円配当
- 2016年10月期(第48期)(実績) 15円配当
- 2017年10月期(第49期)(予定) 20円配当
- 2018年10月期(第50期)(予想) 25円配当



資料

- 社名 株式会社日本ハウスホールディングス
- グループ企業理念
 - ・社会に貢献するグループ企業集団となる
 - ・報恩感謝の心で行動するグループ企業集団となる
 - ・物心両面の幸福を追求するグループ企業集団となる
- 所在地 東京都千代田区飯田橋4丁目3番8
- 創業 昭和44年2月13日 ■ 資本金 38億7,337万円
- 株式 平成26年4月 東証第一部 コード1873
- 決算期 10月31日 ■ 連結子会社5社
- 連結従業員数 1,422名（日本ハウス単体 1,119名）
- 弊社店舗数 支店・営業所 137カ所（住・環境リフォーム事業部 支店・営業所53ヶ所含む）
モデルハウス 110カ所

会社概要(グループ事業)

セグメント	会社名	事業内容	2017年10月期 売上高	売上構成
住宅事業	日本ハウス	住宅の設計 施工、販売	39,262百万円	 <p> ホテル事業 6,198 13.3% </p> <p> ビール事業 923 2.0% </p> <p> その他事業 97 0.2% </p> <p> 住宅事業 39,262 84.5% </p> <p>(単位:百万円)</p>
	日本ハウスウッドワークス 北海道	木材のプレカット パネル加工		
	日本ハウスウッドワークス 中部	木材のプレカット パネル加工		
	東京工務店	不動産賃貸借 管理等		
ホテル事業	ホテル東日本	ホテル・レジャー施設 の運営管理	6,198百万円	
ビール事業	銀河高原ビール (平成29年10月31日全株式譲渡)	銀河高原ビールの 製造、販売等	923百万円	
その他事業	日本ハウス	太陽光発電事業	97百万円	
			46,482百万円	

日本ハウス(単体) (事業部の概要)

木造注文住宅 檜の家

日本ハウス事業部

木造軸組工法を進化させつつ、日本の住文化にふさわしい木造注文住宅



木造提案住宅 檜の家

J・エポックホーム事業部

新時代のニーズに応じて、ハイコストパフォーマンスの木造提案住宅



生活提案の

住・環境リフォーム事業部

地球環境と住む人に優しい、夢のある暮らし



マンション事業部

高品質なマンション分譲を通じて、豊かな住環境を提案



日本ハウスの強み(3つのこだわり)

1. 檜・構造・・・建築高級素材「檜」にこだわる 丈夫で長持ち、孫の代まで檜百年住宅

- ・檜・骨太：骨太の檜を使い、丈夫で長持ちの構造を支えます
- ・耐震・制震・高耐久：「耐震」と「制震」を活かし、高い耐久性能を実現
- ・グッドストロング工法：伝統の工法に、独自開発の技術を融合させた強い家



2. エネルギー・・・エネルギー自給自足のネット・ゼロ・エネルギーハウス (ZEH) 仕様

- ・高い基本性能(高断熱・高气密)：限りある資源を効率よく使う高性能住宅
- ・省エネルギー：高効率設備を取り入れ、一次エネルギーの消費を抑えます
- ・創エネルギー：自分で使うエネルギーは、限りなく自分で創る暮らしを目指す



3. 安全・安心・・・安全・安心、心のこもった家づくり、長期保証の家

- ・ユニバーサルデザイン：メーターモジュール、バリアフリー
- ・感謝訪問：担当者による感謝訪問(ホームドクターシステム)
- ・長期保証プログラム：安心して住める、独自の保証制度
- ・自社運営による24時間対応コールセンター
：お住まいのトラブルのご相談など、当社社員が対応いたします
- ・直営工事(棟梁システム)『日盛会・棟梁会・高品質・責任施工』
：顔の見える安心の住まいづくり



※檜の家「やまと」

【ホテル事業】



ホテル 森の風 鶯宿
HOTEL MORI NO KAZE NO USYUKU



ホテル 森の風 田沢湖
HOTEL MORI NO KAZE AZAWAKO



ホテル 森の風 立山
HOTEL MORI NO KAZE TATEYAMA

平成30年
10月11日
オープン



ホテル 森の風 那須
HOTEL MORI NO KAZE NASU



四季の館 那須
SHIKI NO KAN NASU



ホテル 東日本 盛岡



ホテル 東日本 宇都宮



フラワー&ガーデン 森の風

貸借対照表・損益計算書主要項目(連結)

貸借対照表	17/10期 第2四半期	18/10期 第2四半期	増減額
流動資産	16,989	18,827	1,838
現金及び預金	8,185	7,677	△508
売上債権	1,107	1,093	△14
たな卸資産	6,029	8,264	2,235
固定資産	31,793	30,221	△1,572
有形固定資産	27,738	27,276	△462
無形固定資産	562	543	△19
投資その他の資産	3,492	2,401	△1,091
資産合計	48,783	49,048	265

流動負債	16,521	17,861	1,340
仕入債務	3,150	3,620	470
短期借入金・社債	6,997	7,944	947
固定負債	12,322	9,685	△2,637
社債	0	0	0
長期借入金	8,026	6,414	△1,612
負債合計	28,844	27,546	△1,298
純資産合計	19,938	21,501	1,563
負債純資産合計	48,783	49,048	265

損益計算書	17/10期 第2四半期	18/10期 第2四半期	増減額
売上高	18,364	16,990	△1,374
売上原価	11,128	10,193	△935
売上総利益	7,236	6,796	△440
販売費及び一般管理費	7,184	7,292	108
営業利益	51	△496	△547
営業外収益	27	25	△2
営業外費用	144	148	4
経常利益	△65	△619	△554
特別利益	0	0	0
特別損失	12	4	△8
法人税等合計	53	46	△7
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	12	0
親会社株主に帰属する四半期純損失	△144	△683	△539

本資料ならびにIR(投資家向け広報活動)に関する問い合わせ先

本 社 常務取締役兼管理統轄本部長:河瀬 弘一 担当:執行役員経理部長 白田 則和

住 所 : 〒102-0072

東京都千代田区飯田橋4丁目3番8 日本ハウスHD飯田橋ビル

電 話 : 03(5215)9907 FAX : 03(5215)9912

Eメール : ir@nihonhouse-hd.co.jp

H P : <http://www.nihonhouse-hd.co.jp>

本資料は、投資家の皆様の投資の参考となる情報提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その完全性を保証するものではありません。また、資料に掲載された意見や予測は、資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら補償するものではありません。記載された内容が予告無しで変更される場合もありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は投資家様ご自身の判断でなされるようお願い致します。